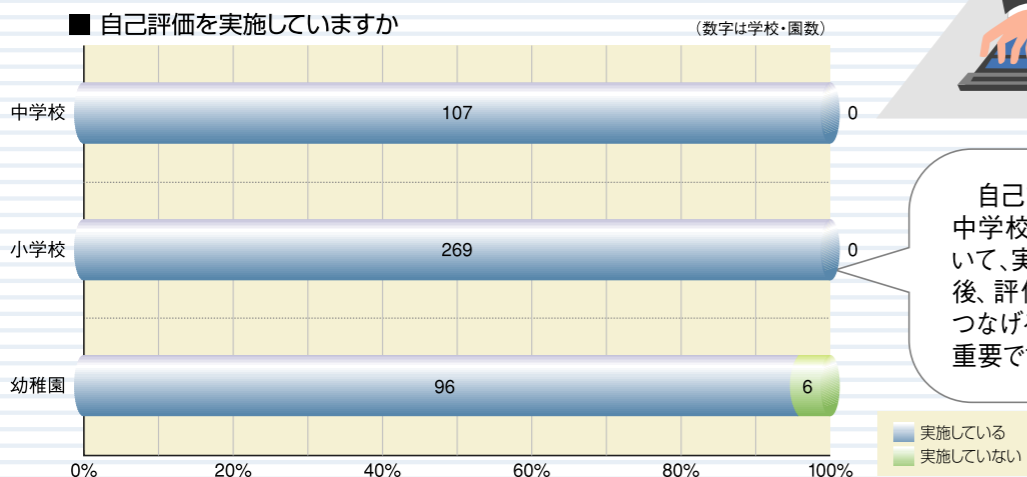


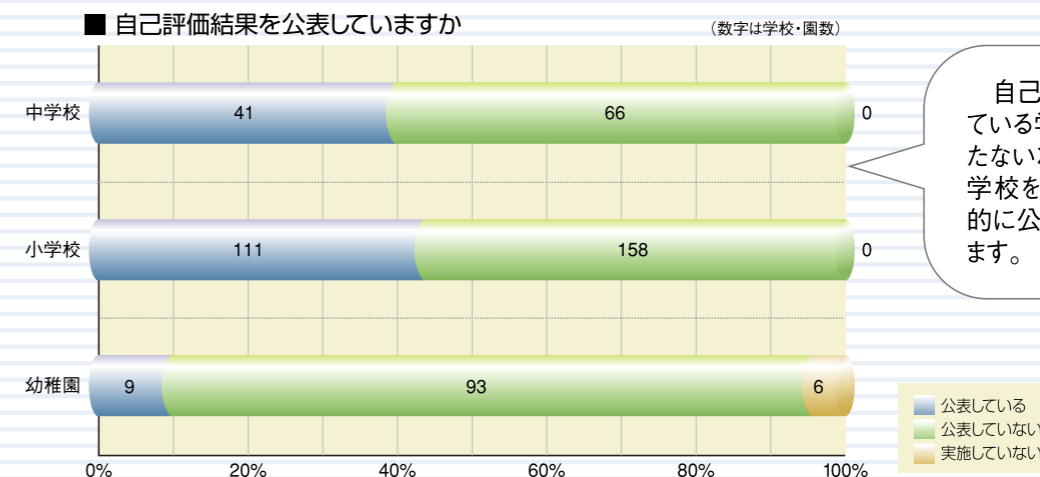
島根県の学校評価の実施・公表状況 平成18年5月調査から

自己評価については、全ての小・中学校において実施されています。学校評価をより多角的・多面的な評価にしていくためには、外部アンケートや外部評価を積極的に取り入れることが大切です。

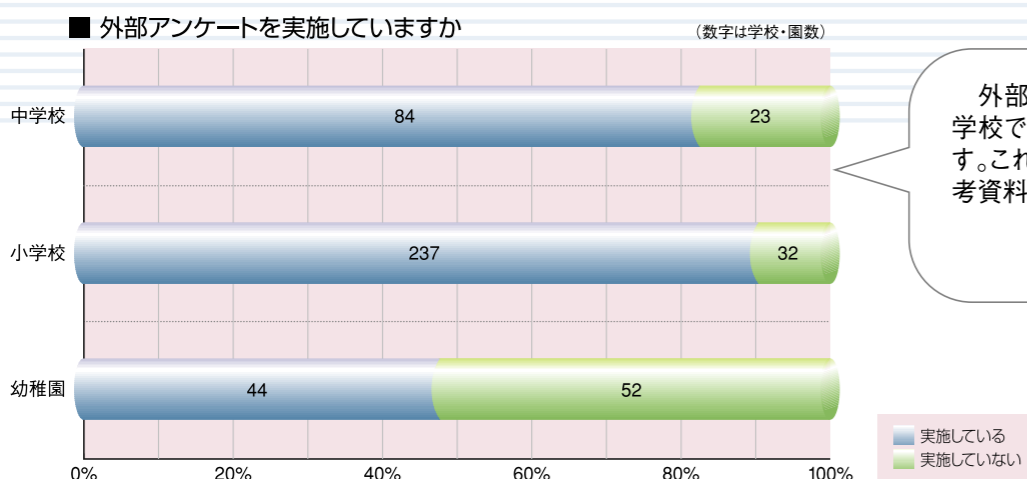


自己評価は、県内の小・中学校すべての学校において、実施されています。今後、評価結果を改善策につなげるシステムづくりが、重要です。

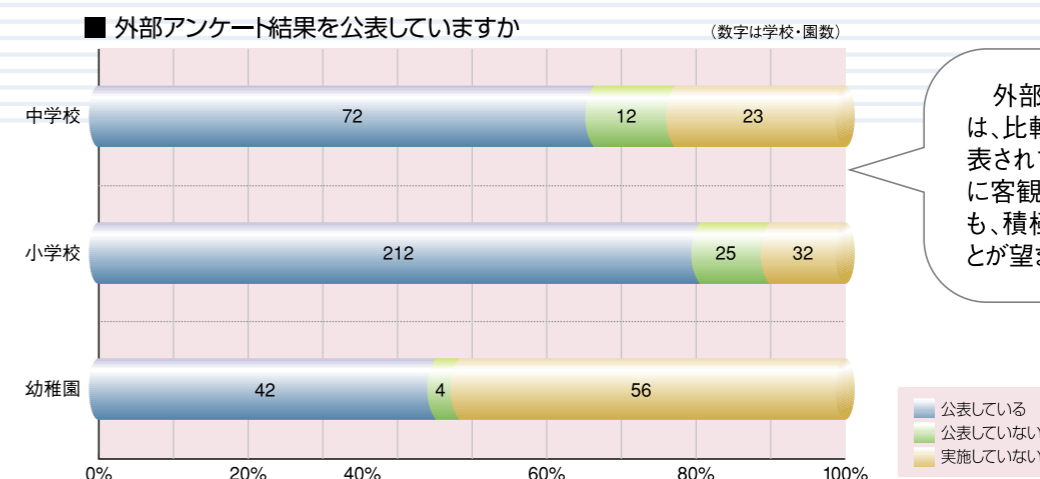
自己評価結果を学校内部で共有するにとどまっている学校が多く見られます。学校評価結果を外部に公表することは、PDCAサイクルを円滑にし、信頼される開かれた学校づくりにつながる重要な要素であると考えます。公表の際には、結果のみではなく、改善策も示します。



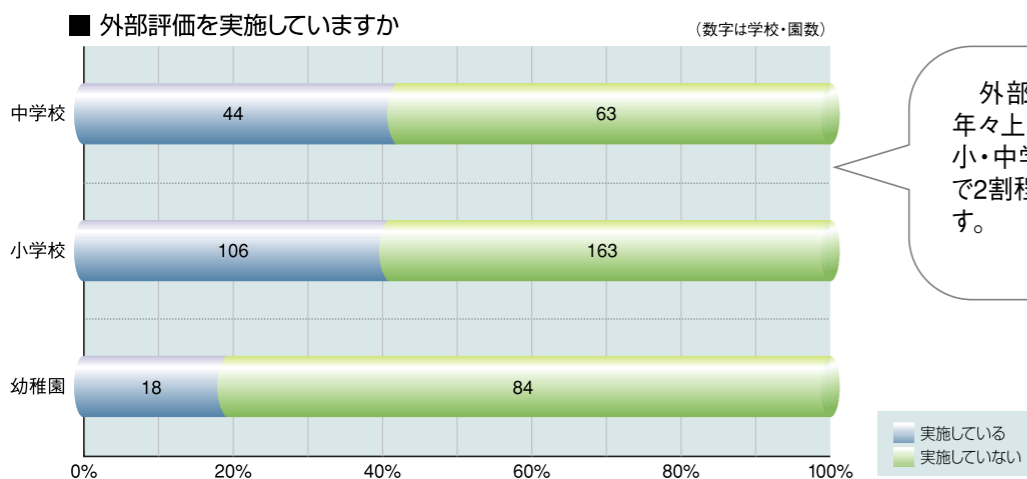
自己評価結果を公表している学校は、半数にも満たない状況です。開かれた学校を目指す上でも積極的に公表することが望まれます。



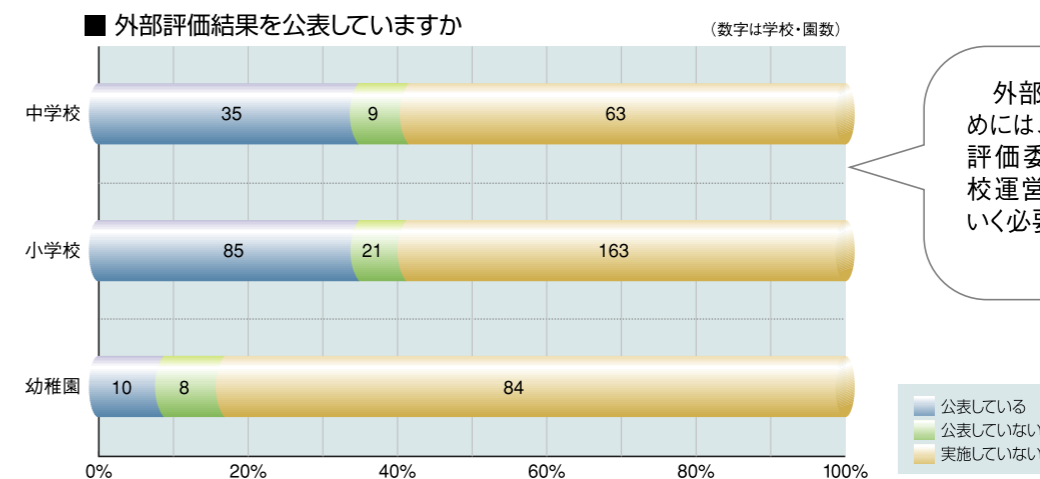
外部アンケートは多くの学校で取り入れられています。これは、自己評価の参考資料として位置づけます。



外部アンケートについては、比較的、高い割合で公表されています。自己評価に客観性をもたせるためにも、積極的に取り入れることが望まれます。



外部評価の実施率は、年々上がってきていますが、小・中学校で4割、幼稚園で2割程度にとどまっています。



外部評価を進めていくためには、年度当初から外部評価委員会を設置し、学校運営について説明していく必要があります。